

# 歲月不待 (さいげつふたい)



輪島市立門前中学校 2年学年通信 第7号 2019. 5. 23

## <キャリア教育講座～橋田幸華さん～>

日本航空高等学校石川バスケット部顧問の橋田幸華さんをお迎えし、「バスケットボールを通じて学んだこと」と題してご講演いただきました。「日常生活を少しずつ変えるだけで人生が良くなる」というお話が印象的でした。チャンスはどんなところに落ちているか分かりません。今はチャンスを掴むための準備期間だそうです。



### <生徒感想>

当たり前なのが当たり前でできるということは、生活でも部活でも良い方に出るし、その当たり前の中で、例えば、いつものあいさつを大きな声で出すとか、笑顔であいさつする等して目標を持つことで、人から良く見られ、頼られる人になることができました。

何をやるにも目標を決めるという事も大事だなと思いました。いつも何も考えずにいるより、目標を決めてそれに向かって頑張る方がいいなと思いました。これから今までの生活をもう一度見直して、充実した生活になるように頑張りたいです。

『一人で生きてきたと思うな』はすごく心に残りました。まだ14年ほどしか生きていないけど、すごくたくさんの人に支えてもらって、助けてもらったなと思います。私は部活で結果を残すことだけでなく、いつもの練習からしっかりとまわりを見て学校でも友達との時間を大切にしていきたいと思いました。

## ～道徳通信～

### 第3回 「住みよい社会に」

マナー向上のために、防犯カメラが設置されることについて話し合い、みんながマナーを守るようになるにはどうしたら良いかを考えました。

防犯カメラがなくても人のことを思いやればよいという意見になった。それは「人のことを思いやれば、迷惑をかけられない。迷惑をかけないためにはマナーを守る」というものだった。



みんながみんなのことを考えて行動する大切さが分かった。

自分がルールを守る手本として生活しようと思った。